



お蕎麦の傍に

山形県東根市立
第一中学校・1年

上野 紗椰

私の住んでいる山形は、蕎麦処でも有名で蕎麦街道といわれている道があり、蕎麦屋さんもたくさんあります。蕎麦屋さんで食べる蕎麦もおいしいと思いますが、私にとって一番思い出に残っているお蕎麦は、小学4年生の時に初めて自分で打った蕎麦です。

お母さんと一緒に体験しましたが、とても難しかったのを覚えています。蕎麦をこねたり、のべしたりする作業も大変でしたが、一番難しかったのは、最後に蕎麦を切る作業です。細く同じ太さに切らないと見た目が悪いのは当たり前ですが、ゆでたとき、均等に火がとおらないので、芯が残ったり、固さがバラバラになったりしてしまうので、慎重に切ったことを覚えています。出来上がった蕎麦を食べたときには、お店で食べる蕎麦のようにはならなかったけれど、私なりにとはとてもおいしくて満足できる味でした。

私は、今でも蕎麦を食べるときはこの経験を思い出して感謝の気持ちと嬉しい気持ちでいっぱいになります。

改めて私は蕎麦が大好きだと思えることができ、蕎麦が身近にあることをうれしく思います。

中学生奨励賞